

地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、佐藤長喜さん(宮内)に旭日単光章が授与されました。佐藤さんは、昭和44年から4期16年間にわたり村議会議員として村勢発展に貢献。この間、議会の産業常任副委員長や文教厚生常任委員長を務め、村総合振興計画の策定をはじめ昭和55年の大冷害での農家支援、センター

## 佐藤長喜さんに旭日単光章 役場で「叙勲伝達式」



▲写真左から菅野村長、佐野幸正議会総務文教常任委員長、山田進議会OB会長、佐藤正広さん(二男)、佐藤長喜さん、佐藤長平さん(長男)、甲賀敬相双地方振興局長

地区構想実現などに尽力されました。役場で行われた伝達式では、はじめに甲賀敬相双地方振興局長から佐藤さんに勲記と勲章が伝達されたの続き、菅野村長が「佐藤さんの永年にわたる自治功労に敬意を表します」とあいさつ。最後に佐藤さんが「この受章に恥じぬよう精進します」と受章のあいさつを述べました。

## まめでたっしやに健康づくり

### 3/15 ポイントラリー 講演会・表彰式

いきいきクラブ(庄司和明会長)と村では、村民の健康づくり事業の一つとして「19年度ポイントラリー事業」に取り組み、スポーツ教室など年間13のポイント対象事業を実施してきました。その獲得ポイントの多かった人たちを表彰する表彰式が村公民館で行われ、

上位5人に記念品が贈られました。また、表彰式に先立ち行われた講演会では、みずの内科クリニック(福島市)の水野兼志先生が講師を務め、自分の健康を守るための運動と食事について、その手法やポイントを講話しました。同クラブと村では、20年度も引き続き健康づくり事業に取り組みたいと考えています。



▲講演会の様子

## 全国大会での活躍を期待



▲全国大会に出場する勝則君(写真左)と亨君(写真右)

### 3/18 出場選手2人に 激励金

川俣高2年生の菅野勝則君(比曾)と菅野亨君(蔵平)が、3月27日から石川県で開かれる「第23回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会」へ出場することになりました。大会前、2人が役場を訪れ菅野村長に出場を報告。菅野村長から2人に

村からの激励金が贈られました。2人とも2年生で、勝則君は昨年の新人戦県大会69<sup>キ</sup>級で優勝、また亨君は記録会の85<sup>キ</sup>級で上位に入り、それぞれ今大会への出場を決めました。激励金を受け取った2人は「初めての全国大会で不安はありますが、ベストを尽くしたい」と健闘を誓いました。

## みんなの ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



## 2/28 村民へ 熱いメッセージ

### 2人の警察官が熱弁 生活安全協議会大会



▲講話する中島刑事部長



▲講話する小沼署長

「飯館村生活安全協議会大会」が村公民館で開かれ、参加者が安全な地域づくりを目指すことを再確認しました。生活安全協議会は、防犯・交通安全・防災の関係団体等によって昨年4月に発足した組織です。各団体から約100人が参加した大会では、はじめに部会の活動報告が行われ、交通安全部会の只野俊部会長、防犯部会の上田秀さん(婦人会長)、防災部会の荒利喜部会長が、それぞれ1年間の活動内容を発表しました。その後の講演では、南相馬警察署の小沼義範署長と、県警本部の中島常夫刑事部長が講話。小沼署長は「警察人生42年間で学んだもの」と題し、21回の転勤を通して各地域の人たちから学んだことや、防犯には自助・公助・共助が大切であることを話しました。また、本村出身で村の

## 3/21 戦術よりも「戦略」

### 生産販売戦略講演会 農業発展の手掛かり探る



▲講演会の様子

村第2期中山間地域等直接支払推進協議会(齋藤政行会長)主催の「生産販売戦略講演会」が村公民館で開かれ、村民ら約50人が聴講しました。講演会では、講師の高木響正氏(事業戦略構築研究所AX代表)が、「農業から食業へ」と題して講話。講演では地域残しであり、歴史・文化を農業にも活用する必要性や、これからの農業と地域の活性化には「戦略」が最も重要であることなどを訴えました。

が、「農業から食業へ」と題して講話。講演では地域残しであり、歴史・文化を農業にも活用する必要性や、これからの農業と地域の活性化には「戦略」が最も重要であることなどを訴えました。

応援団「いいたて・まてい・ユニット」の会員でもある中島刑事部長は「みんなしあわせに」と題して講話。金銭をめぐるトラブルや事件、交通事故問題などに触れ、今日の日

本に欠けているのは歯止め。の思想で、道徳精神の教育が必要であることを語りました。参加者らは、熱のこもった講師の話に真剣な表情で聞き入っていました。

# 「あいの沢」遊歩道にチップ散布

## 森林環境交付金事業



▲遊歩道にチップを散布する参加者ら

里山の整備など森林を守り育てる活動に交付しています。

事業に参加した人たちは、村産間伐材で作ったチップを遊歩道へいねいに敷き詰めていきました。チップを敷いた遊歩道はクッションが利き、足に負担が少ないのが特徴です。また、チップ散布後には、参加者らがその遊歩道沿いの木50本に樹名板を設置しました。

村では、20年度も同交付金を活用し、チップ歩道の整備や子どもたちを対象にした森林環境教室などを行う予定です。

この事業は、チップ散布を通して遊歩道の快適化を図り、参加者に森林に親しみを感じてもらおうと、村が19年度の森林環境交付金事業として、昨秋の「小学生除伐・間伐体験実習」に続き実施したものです。



▲樹名板を取り付ける参加者

森林環境交付金は県が18年度に導入し、森林・



### 「ちりも積もらせ」家族の絆を

「ちりも積もらせ山となる」という諺、近頃あまり聞かれなくなりました。ごく小さくわずかな物でも、積もり積もれば山のように大きくなるというたとえで、貯金の時などによく使われる言葉です。

ところが、今時の厳しい経済事情の中では、貯金などなかなか出来るものではありません。私など、妻から「これからの老後は大変なんだから、貯金しないとダメよ」などと毎日のようにありがたい忠告(?)を受けていますが、どうしてどうして、毎月足りないことはあっても、貯金など夢のまた夢の話です。しかし、ある方の話を聞いてから、500円玉の貯金を始めるようになってしまいました。

ある方の話とは、次のようなことです。その方の奥さんは、500円硬貨で満杯になれば20万とか30万になるという貯金箱を買って、これまで7、8年の間に2回ほど満額にしているとか。1回目の時は「お母さんのヘソクリよ」と、嫁さんと3人の娘さんに分け与え、大喜びされたとか。

2回目は、家族で温泉の旅をしたそうです。その方の口からは、よく家族連れで「食事に行ってきた」とか「ドライブしてきた」の話が聞かれます。それは、夫婦はもちろんのこと、息子さん夫婦や孫さんなども含めての、家族の融和を図ることの大切さゆえの心配りを常にしていることが、ひしひしと伝わってくるそうです。

その話を聞いて以来、私も「よし」と一発奮起して、つり銭に500円玉が出た時は、貯金箱に入れることにして1年余り経ちます。近頃は、100円玉5個を500円玉に取りかえてもらつてまで、貯金に熱を上げている有様。私の貯金箱が一杯になったら、いくら貯まるのかわかりませんが、ぜひ家族の絆を深めるために使おうと心に決めていきます。

近頃、村内にも家庭や家族の問題で悩む方がいるやに聞きます。私は「何もしなくとも家族でいられた時代」から「心がけて 家族をつくっていく時代」になってきているなど常日頃思っていました。

最近、若い方にも小銭の貯金ブームが流行しているとか。わずかなお金でも無駄にしないという心理をうまく利用して、お金を入れないとアラームが止まらない目覚まし時計が売られていたり、1円玉をこつこつ貯金できる商品を買う人などが増えているそうです。村民の皆さんも、1円玉でも50円玉でも「家族の融和づくり貯金」をやってみてはいかがでしょうか。

飯館村長 菅野 典雄  
平成20年3月26日

# 「足元の宝に目を！」 — 飯樋地域の活性化を目指し —

3/5

## いいよんく講演会



▲講演会の様子

「いいよんく講演会」が飯樋町集会所で開かれ、飯樋4行政区の住民ら約80人が参加し、地域活性化の対策や手法などについて理解を深めました。

現在、飯樋4区連合(代表・愛澤文良大久保外内区長)では、飯樋地域の活性化を図るため、飯樋4区振興協議会を設置し振興策を検討しています。今回の講演会は、その一環として「つながりプラン」事業を活用し実施しました。

講師は、(株)石見銀山生活文化研究所(島根県)の松場登美所長。

松場さんは、地元石見銀山の町並みや文化価値を再認識し発信するため、古民家を修復して生活文化交流の場に活用したり、異業種間ネットワークを立ち上げて各種イベントを企画・実施するなど、町の活性化に大きく貢献されています。平成15年には内閣府観光カリスマ百選の一員に任命されました。

講演で松場さんは、人との出会いによって人生が大きく変わることや、日本の伝統文化には豊かさがあることを訴え、「人や時代が捨てたものを再生しましょう。そして、自分たちが楽しく生活することが元氣な地域



▲講話する松場さん

## 誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
赤坂世莉那ちゃん	晃・あつ美	前田・八和木
酒本莉緒ちゃん	剛・広子	草野
酒本樹葵くん	剛・広子	草野
赤石沢未優花ちゃん	真一・知恵	大久保・外内
遠藤結菜ちゃん	勝弘・良恵	比曾
竹中模くん	勝・広美	佐須

すくすくと元気に育ってね

## 結婚おめでとう

氏名	行政区
鍛冶内 辰也	小宮
菅野 実香	関宮
渡邊 春樹	小宮
宮下 梢	会津坂下町

いつまでもお幸せに

## おくやみ

氏名	年齢	行政区
今野 征一	85	飯樋 町
渡邊 仁	81	前田・八和木
齊藤 ヨシイ	65	深谷 泥
菅野 寅吉	75	長宮 泥
北原 榮男	88	宮伊 丹
巻野 徳正	91	伊長 佐
高橋 正一	83	長佐 須
阿部 一三	68	佐須

ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

## ひとのうごき

(平成20年3月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3173人 (-7人)	3265人
女	3200人 (-7人)	3278人
計	6373人 (-14人)	6543人
世帯数	1697戸 (-4戸)	1740戸

◆◆◆2月1日～29日までの人口動態◆◆◆			
転入	14人	転出	24人
出生	4人	死亡	8人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)